

(様式) 振り返りレポート

(追加取組) 経営者・管理職への体験型研修の実施

取組の実施状況

(企業名

経営者・管理職の人数が3名に満たない場合は、管理職候補者等の従業員を含め必ず3名以上に対して実施してください。

1 実施概要	
①実施日	令和7年 9月10日 ～ 令和7年 9月24日
②対象者	役員・管理職 3名 一般職 2名
2 研修目的	
・多様なライフステージ（育児・介護等）に直面する社員への理解を促進 ・組織マネジメントにおける「配慮・柔軟性」の強化	
3 実施内容	
①想定シナリオ	毎朝8時と18時に保育園の送迎をする育児中の従業員に、突然保育園から発熱によるお迎え要請があったことを想定。翌日は看護のため在宅勤務を実施する。
②研修内容	・実施期間中に対象者1名につき1回、直前の指示（お迎え要請）の代わりに半日で帰宅とする。 ・お迎え要請の当日半日及び翌日は、原則在宅勤務（本人の希望により有給休暇取得も可）とする。 ・期間中は定時退社を原則とする。 ・終了後、アンケートを提出する。
③留意事項	・参加者は体験型研修の趣旨を踏まえ、実際に育児や介護をしながら働く従業員の負担感などを想像しながら取り組むこと
4 実施結果	
①参加者	役員・管理職 3名 一般職 2名 （参加率 100%）
②実施状況	・期間中、6割の社員（3名）が毎日定時退社することができた。 ・お迎え要請の日に会議が入っていたためすぐに退社できない社員がいた。 ・翌日の在宅勤務は全員対応できた。
5 アンケート結果	
①方法	調査票を参加者へ配布し実施期間終了翌日に回収
②回収率	対象者 5名のうち回収数 5名 回収率 100%（回収数／対象者）
③結果概要	主な回答傾向： ・80%（4人）が新たな気づきを得られたと回答 ・60%（3人）が部下に対するマネジメント行動を見直す必要性を感じたと回答 自由記述： ・育児中の社員の負担を想像するよい機会となった。 ・日頃からのコミュニケーションと準備が必要と感じた。 ・柔軟な働き方支援策の整備が必要と感じた。 ・短期間での体験のため、実際の負担感とのギャップがある等の回答があった。
6 効果・課題	
①効果	・育児や介護と仕事の両立支援の重要性に対する意識変化 ・部下支援、制度を活用しやすい職場の雰囲気づくり
②課題	・周りの社員のフォロー体制の整備 ・研修後の行動変容を促すフォロー施策が未整備 ・日頃からのコミュニケーション
7 次回実施に向けた計画	
①改善案	・体験型＋座談会形式（育児や介護経験者との対話機会）を組み合わせる
②次回実施予定	令和8年 2月実施予定

※「(様式) 事後アンケート（回答済のもの）」を添付すること